

かつて神風特別攻撃隊が出撃した土地で、次の世代へ平和を伝えること

えん たい ごう

掩体壕を残すまちから 宇佐海軍航空隊を訪ねて

定価: 1,430円(本体1,300円+10%税) ソフトカバー320頁 **平田崇英 著**
ISBN 978-4-87035-762-4

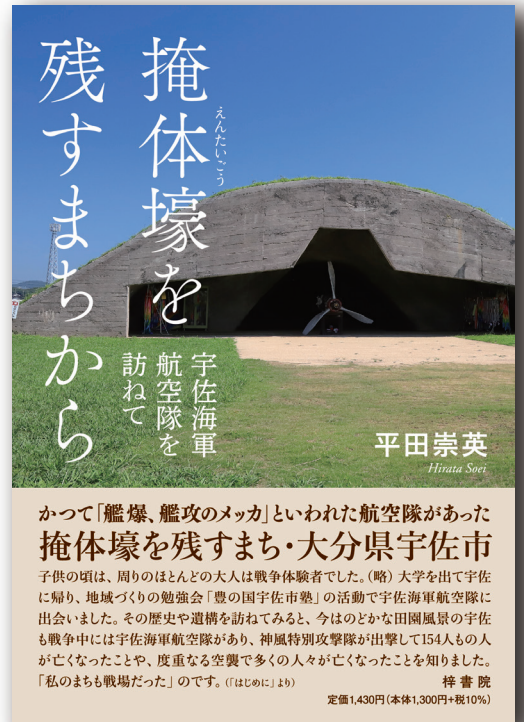
私たちのまちも戦場だった——
大分県宇佐市のこれまでとこれから

戦時中、大分県宇佐市には宇佐海軍航空隊があった。この航空隊は真珠湾攻撃の搭乗員の養成を担うなど、「艦爆、艦攻のメッカ」として知られるが、時代とともに特攻基地へと変わっていく。この地から神風特別攻撃隊が出撃して 154 人もの人が亡くなったこと、また度重なる空襲で多くの人が亡くなったこと。これらの歴史を伝えるため、著者は長年平和活動に取り組んできた。

宇佐市には今も、空襲で敵機から飛行機を守るための格納庫である掩体壕をはじめ、多くの戦争遺構が残っている。戦争の歴史も風化が進む中、語り部としてこれら戦争遺構を保存することは、ますます重要になってくるだろう。戦争体験者から戦争を知らない世代へ、そしてさらにその子供たちへ。航空隊の歴史を通して、平和の大切さや命の尊さを語り伝える著者が「掩体壕の残るまち」から「掩体壕を残すまち」への遍歴を綴る。世代を超え地域を越えた、たくさんの人との出会いの記録。

【目次】

- はじめに —戦争を知らない子供たち第1世代から— / 1 宇佐海軍航空隊との出会い
- 2 活動のテーマは「発掘」 / 3 「宇佐航空隊の世界」の催し
- 4 その他の活動と催し / 5 保存と伝唱 / 6 宇佐海軍航空隊のあゆみとその特色
- あとがき / 参考文献他 / 年表



4月30日発売

【著者】平田 崇英 (ひらた そうえい)

- 昭和 23 年 宇佐市生
- 昭和 46 年3月 龍谷大学文学部仏教学科卒業
- 昭和 47 年8月 財団法人教徳保育園勤務
- 昭和 53 年5月 財団法人教徳保育園園長
- 昭和 54 年8月 保父(現在の保育士)資格取得
大分県男性1号
- 昭和 62 年9月 地域づくり団体
豊の国宇佐市塾塾生代表
- 平成元年3月 財団法人教徳保育園退職
- 平成元年4月 浄土真宗本願寺派教覚寺副住職
- 平成2年3月 宇佐市教育委員三期
(平成 14 年任期満了)
- 平成 11 年6月 浄土真宗本願寺派教覚寺住職
- 平成 15 年4月 行政相談委員三期
(平成 21 年3月退任)

梓書院 (貴店番線)	注文	ご担当	ISBN 978-4-87035-762-4 C0021
	冊	様	掩体壕を残すまちから 宇佐海軍航空隊を訪ねて
			定価: 1,430円 (本体価格: 1,300円+税)
		平田崇英・著	福岡市博多区千代 3-2-1 (tel)092-643-7075

注文扱い
配本は行って
おりません
日販
トーハン
きんぶん図書
楽天BN(ト
ーハン経由)
にてお取り扱い
致しております。